



災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- むやみに動かず安全を確認。
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。
(火を扱っている場合は、身の安全を確認後火の始末)
- エレベーターを使用せず階段で避難。
(本学のエレベーターは地震が発生した場合、自動的に停止するシステムになっています。)
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動。
- 負傷者の救護や初期消火に協力。
- 家族との安否確認および学校へ安否状況登録。

地震発生直後は裏面へ



学校への安否状況登録方法

安否状況登録について

大地震が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。
必ず全員の学生が UNIVERSAL PASSPORT より安否状況登録を行ってください。(安否確認メールを配信します)

[UNIVERSAL PASSPORT URL・QRコード]

■三好キャンパス所属学生用
<https://unipaap1.tokaigakuen-u.ac.jp/uprx/>



■名古屋キャンパス所属学生用
<https://unipaap2.tokaigakuen-u.ac.jp/uprx/>



日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認 (学校付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録 (メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 (災害時徒歩 約 2.5 km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認 (学校および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 学校および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルはホームページよりプリントアウトできるので、ご家族にも事前にお伝えください。

https://www.tokaigakuen-u.ac.jp/campus_life/doc/earthquake_manual_2025.pdf



また、携帯電話にも対応しておりますので、画面メモにて保存してください。ただし、緊急時は携帯電話の充電が切れることもあるので、ポケットマニュアルもあわせて携帯してください。

※インターネット接続時にパケット通信料がかかります。



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- | | |
|--|--|
| ☐ 現金 (小銭も) | ☐ 学生証 (免許証なども) |
| ☐ マイナンバーカード | ☐ アドレス帳
(家族、友人の連絡先を記入) |
| ☐ 健康保険証 | ☐ 雨具 (カッパなど) |
| ☐ タオル・ばんそうこう・包帯 | ☐ 携帯充電用 USB ケーブル |
| ☐ 手回し充電ラジオ・ライト | ☐ ポリエチレン製ごみ袋 |
| ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ | ☐ 油性マジックペン |
| ☐ 非常用保温アルミシート | |
| ☐ チョコレート・あめなど | |

その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 貯金通帳 | ☐ 印鑑 |
| ☐ 常備薬とその処方箋 | ☐ 上着・下着・靴下 |
| ☐ 運動靴 | ☐ リュック |
| ☐ 卓上コンロ | ☐ 懐中電灯 |
| ☐ ひも・ロープ | ☐ ろうそく |
| ☐ 予備電池 | ☐ 缶切り・栓抜き |
| ☐ スリッパ | ☐ 洗面用具 |
| ☐ 使い捨てカイロ | ☐ 非常用食料・水 |
| ☐ マスク | |

memo

※ 記入は油性のペンを使用してください。



もしもの時にあなたの身を守る

大地震対応 マニュアル SAFETY GUIDE



東海学園大学



家族への連絡方法

NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。

☎ 171 をダイヤル

録音 1 暗証番号を利用する録音 3	再生 2 暗証番号を利用する再生 4
被災地の方の電話番号を入力	
伝言の録音 (30秒以内) 1*	伝言の再生 1*

※回転ダイヤル式電話機の方は操作不要です。

電話番号 事前に記入しておきましょう

____ - ____ - ____

詳しいサービス概要や、ご利用方法はNTTのホームページをご覧ください。
その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご参照ください。

事前の登録が必要です! (事前にテストをしてください)

携帯各社の災害用伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認 (安否情報の登録) ができる災害用伝言板サービスです。
あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

各社の QR コードはこちら



■NTTドコモ
<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

■au
<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

■ソフトバンク
<http://dengon.softbank.ne.jp/>

緊急時パーソナルメモ

氏名 _____

学籍番号 _____

学 部 _____

学 科 _____

緊急連絡先 _____

住 所 _____

電話番号 _____

持 病 あり なし 常用薬 あり なし

アレルギー あり なし ()

自宅近くの避難場所 _____

家族との待ち合せ場所
家族と共有しておきましょう

※記入は油性のペンを使用してください。

地震発生直後

→ 揺れがおさまったら →

落ち着いたら① →

落ち着いたら②

地震発生
身を守る今いる場所は
本当に安全？YES
その場所を動かない
NO
避難場所へ避難家族との
安否確認自宅に歩いて
帰れる？YES
自宅へ
NO
避難場所へ学校へ
安否状況登録
(UNIVERSAL
PASSPORT)

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼



学校にいるとき

- 窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下などにもぐるか、バッグ・衣類などで頭を覆うなどして、落下物から頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する。
- 実習中などで周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み揺れがおさまるのを待つ。

自分自身の心構え

- 冷静に、落ち着く。
- 建物の傾き、壁のひびなどを確認。
- 火災が起きていないか？火災の場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。また、消火が困難と判断した場合は、火から離れる。
- 負傷者はいないか？負傷者がいる場合は安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、事務局へ連絡。
- 余震の可能性もあるため、あわてずしばらく様子を見る。
- ガラス、黒板、ホワイトボードなどが倒れるおそれなく、天井からの落下物が無いと確認できた場合であっても、すぐには動かない方が安全である。

行動に移るときの注意点

- 火災の場合は煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- 移動する場合は、教職員の指示により、エレベーターを使わずに階段で移動する。

学校を基点とした避難場所

避難場所は、広く、火災による延焼のおそれがないところが適している。
学校ではあらかじめ以下の場所を避難場所として想定しているが、地震時の状況により安全な場所へ避難する。

三好キャンパス周辺

避難場所▶ 大学野球グラウンド
黒笹小学校
三好丘小学校
三好丘中学校

名古屋キャンパス周辺

避難場所▶ 大学グラウンド
原小学校
原中学校
原コミュニティセンター

帰宅する？学校に残る？

余震がおさまり落ち着いたら、自宅に帰るか検討する。交通機関が動いていない場合は歩いて帰宅することになる。その場合の目安は20km。20kmよりも遠い人は避難場所へ。また、チェーンメールなどに惑わされず、テレビ・ラジオなどで正確な情報を収集する。

※災害時交通機関が長時間不通となった場合に、徒歩で帰宅する目安の距離は20km以内とされている。

帰宅困難者心得10カ条

- ・慌てず騒がず状況確認
- ・携帯ラジオをポケットに
- ・作っておこう帰宅地図
- ・ロッカーあけたらスニーカー（防災グッズ）
- ・机の中にチョコやキャラメル（簡易食料）
- ・事前に家族で話し合い（連絡手段・集合場所）
- ・安否確認：災害用伝言ダイヤルや遠くの親戚
- ・歩いて帰る訓練を
- ・季節に応じた冷暖準備（カップ・携帯カイロ・タオルなど）
- ・声を掛け合い、助け合おう



通学中

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 「帰宅するか」「登校するか」または、「最寄りの安全な場所に避難するか」は自分で判断する。

- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所に移動する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。

家族の電話番号

-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

memo

- 多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。周りの状況を確認してから帰宅すること。
- 災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10kmは4時間を要することになる。
- 日没後の行動は危険で、夜間には犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けること。

(目安)

月 日	日の出	日 没
3月20日	05:56	18:04
6月20日	04:38	19:10
9月20日	05:39	17:52
12月20日	06:56	16:44

※悪天候は1時間早く暗くなります。